

本宮市

コミュニティ・スクール

子どもと地域の夢を未来へつなぎ みんなが笑顔になる「コミュニティ・スクール」

学ぶ

つなぐ

生み出す



本宮市教育委員会 教育総務課

〒969-1192

本宮市本宮字万世212番地

電話:0243-24-5441(直通) (総務係)

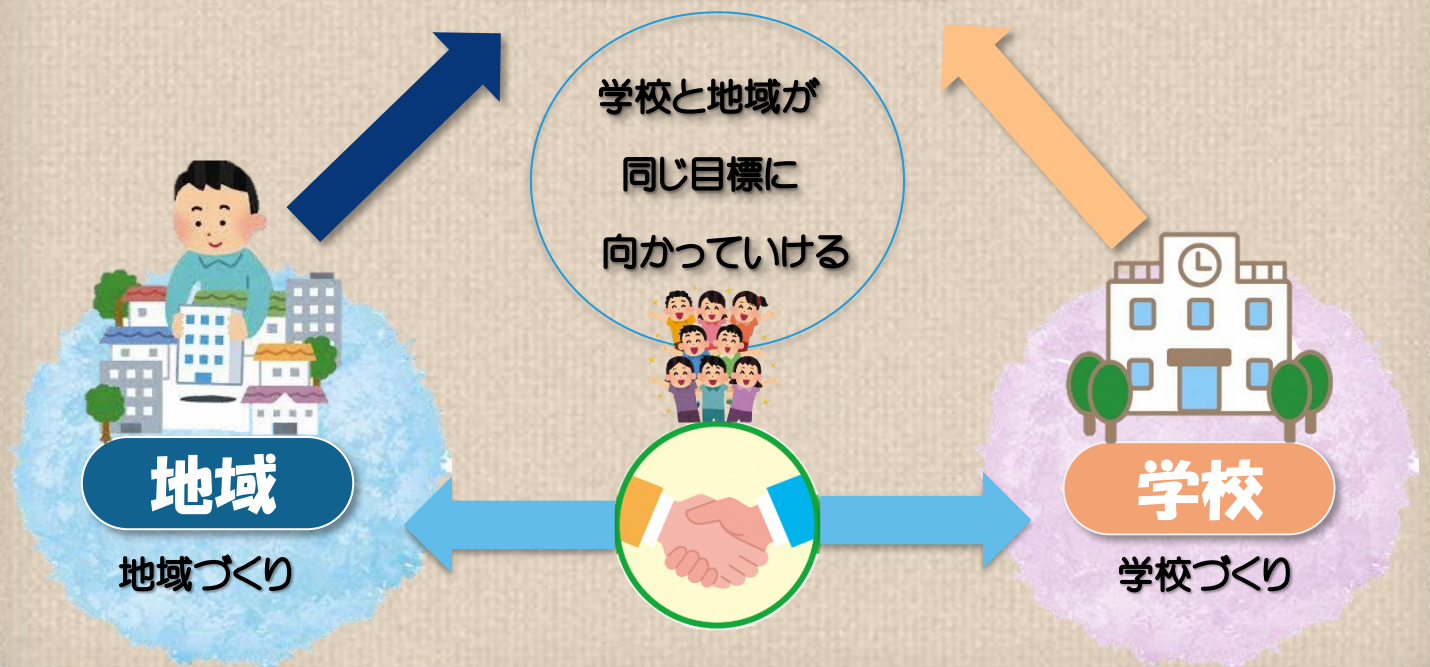
Email kyouikusoumu@city.motomiya.lg.jp

コミュニティ・スクールとは、
学校運営協議会 が設置されている学校です。

学校運営協議会は、保護者や地域住民等により構成され、
地域と目標やビジョンを共有するとともに
学校運営やその運営に必要な支援に関して協議します。

学校と地域が一体となって協力

共通の目標



こんな効果が期待されています

みんなが子どもの教育に携わる

- ・学校任せではなく、地域が学校と共に対策を考える
- ・積極的な声掛けや、自ら指導する機会が増える

生きがい・学び・体験の充実

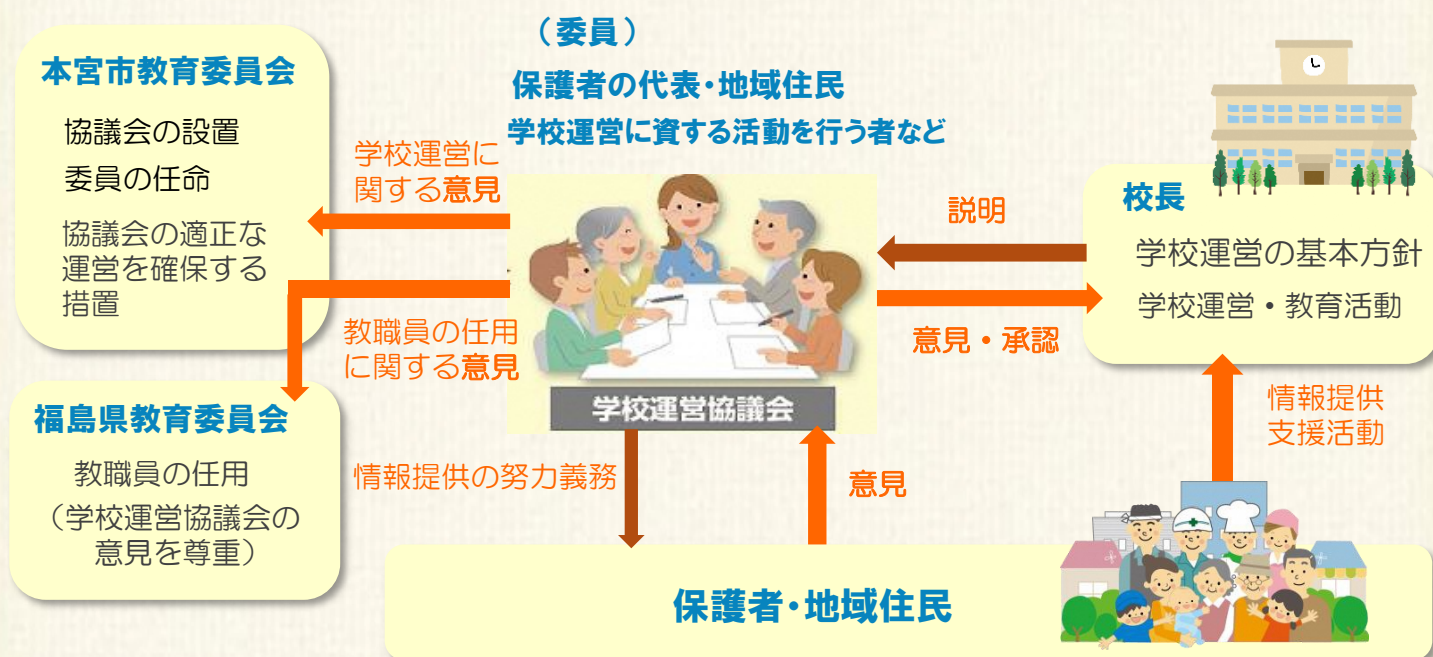
- ・地域の力を生かした学校運営や、教育活動の実現
- ・地域の創意工夫や特性を生かすことで
学びがより豊かで、広がりを持つようになる

お互いの顔が見える関係

- ・学校の現状や方針への理解が深まり
地域が学校の応援団になる
- ・地域の協力により教職員が子どもと向き合う時間が増える

学校と地域の協力体制が築かれることで、防犯・防災等の面でも
課題解決に向けての効果が期待されます。

～コミュニティ・スクールのしくみ～



学校運営協議会の主な役割

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。

本宮市が コミュニティ・スクール でめざす 子ども・学校・地域 の姿



みんなで 夢に向かう力が強い子 を育てる

みんなで 地域の核になる学校 をつくる

みんなで 笑顔あふれるまち にする

令和4年度より、本宮市ではすべての小中学校がコミュニティ・スクールになりました。

コミュニティ・スクール 取り組みの紹介 ①（おおたま学園）

令和4年度本宮市コミュニティ・スクールフォーラムでは、おおたま学園CS委員会副会長の矢吹吉信様をお招きし、取り組みについてお話をいただきました。その成果や今後の課題等について一部ご紹介します。

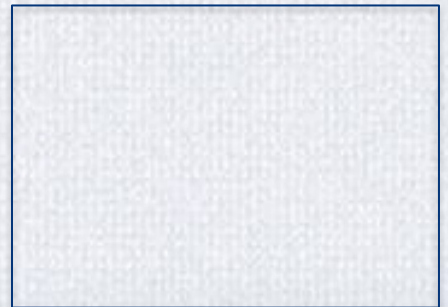
おおたま学園コミュニティ・スクール委員会は幼少中5校園に1つの協議会として立ち上がりました。当初は説明にも難しい言葉が多く、かたい雰囲気を感じていたそうですが、「子ども・先生・保護者が笑顔になることで地域も明るくなる」と積極的な活動を続けてきました。

大山小学校では運動会、学習発表会を地域の人にも見てもらいたい、コロナ禍で密にならずに開催するにはどうしたらよいかと困っている時、校庭に大きなステージを作成し問題解決の手助けをしました。ステージ、看板などの作成には多くの団体や地域住民、そして子供たちが協力したことで、学校も地域も子どもたちも笑顔があふれました。

学校が悩みを相談することができ、地域は学校の現状をよく理解し、協力して必要な支援をすることができた素晴らしい取り組みとなりました。

学校運営協議会の自主的な運営により内容は充実し、幼少中で理解、教育の推進、子ども・地域住民の意識・行動の変化などの成果をあげています。

今後の課題として、委員の活性化、開催時間の確保、次世代ボランティアの育成、指導支援技術の伝承などがあげられています。



コミュニティ・スクール 取り組みの紹介 ②（白沢中学校区）

令和3年より推進協議会として一年間の準備期間を経て、令和4年よりしらさわ学校運営協議会（しらさわCS）として新たに始まりました。白沢地区の大きな特徴としては運営形態が糠沢小・和田小・白岩小・白沢中の4校で一つの学校運営協議会を運営していることです。この形態はおおたま学園コミュニティ・スクール委員会と似ておりますので、身近に良きお手本があることは大きな励みになります。

令和4年度の取り組みについては、新型コロナウイルスによって、やむなく会議を取り止めるときもありましたが、4校共通議題として2回熟議を行いました。まずは「自分の思いを伝える、伝える」を議題として話し合われました。挨拶の習慣化、地域の方との交流など、表現する場をもうけ体験をさせる。など意見として出されました。これらを踏まえ「あいさつ」の取り組みについて意見交換が行われ、引き続き「子供たちの生活習慣について」2回目の熟議が行われました。ゲームが生活の優先順位が高い。ゲーム依存が怖い。依存について講演会を聴くなど、親自身も含め家庭でのルール（制限）も必要。など多くの意見が出されました。

次年度は「キャリア教育」について職場体験などを実施して、白沢中学校区の児童、生徒が苦手としている点に重点を置きたいとしています。

